

# 市長への生き生きメール

平成25年3月31日までお送りください。

☎総務課広報広聴係 ☎22-1331

**FAX** 24-4861



切り取り

のりしろ

## 市長への生き生きメール

市では、市民の皆さんから市政へのご意見やご提案をお寄せいただき、市長が直接目を通した上で、これからの市政に生(活)かしたいと考えています。ご意見ご提案をお寄せいただくときには、裏面にご記入の上、切り取り線の通りに切り取り、のり付けして郵送してください。

また、ファクシミリでも受け付けますので、裏面にご記入の上、そのまま送信してください。

氏名 住所

切り取り

切り取り

989 0290



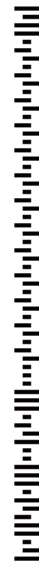
差出有効期間  
平成25年3月  
31日まで

(郵便切手は  
いりません)

白石市役所

白石市長 風間 康静 行

白石市大手町1番1号



のりしろ

のりしろ

切り取り

切り取り

切り取り



左から、瀧川鯉朝さん、松野竜大くん、小熊宏輝くん、平間快くん、佐藤慎太郎くん、山口彩人くん、榎野瑞樹くん



## 日本の伝統文化「落語」に挑戦!

11月16日、公益社団法人落語芸術協会(桂歌丸会長)の皆さんによる「落語教室」が白川小学校体育館で行われ、同小の6年生全員6人が、高座に上がるときにバックに流れる音楽「出囃子」と、約2~3分の間で「オチ」の付いた「小噺」を披露しました。

出囃子(太鼓)に挑戦したのは、榎野瑞樹くん、山口彩人くん、佐藤慎太郎くん。小噺に挑戦したのは、平間快くん、小熊宏輝くん、松野竜大くんです。同小では、10月17日に「落語教室」全校ワークショップを開催。

同協会の瀧川鯉朝さん(真打)、橋ノ圓滿さん(二つ目)、松本優子さん(お囃子)が同小を訪れ、小噺や出囃子の実技指導を行いました。

6人は1カ月間、自宅でDVDを見ながら噺や太鼓を覚えるなど、公演に向けて練習を重ねてきました。

会場には、同小の児童や保護者、地域の方々など約150人が、プロの落語とともに、6人の発表を楽しみに来場。6人は、1カ月前とは別人のように、練習の成果を堂々と披露し、会場に笑顔を届けていました。この公演は、文化庁が主催する「次

代を担う子どもの文化芸術体験事業～巡回公演事業～として、優れた舞台芸術に触れることで、子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的に実施。11月12日から16日まで宮城県内で公演が行われました。

公演後、橋ノ圓滿さんが「今回の旅で一番良かった」と自身のブログに掲載するほど頑張った6人。児童たちにとっては、日本の伝統文化の素晴らしさを肌で感じる絶好の機会となりました。

広報しろいし 今月の表紙

## Shiroishi

市民と市政を結ぶ情報紙 広報しろいし

広報しろいし2013年1月号  
平成25年1月1日発行  
No.641



## 碧水園茶室の復旧工事が完了

平成24年12月、東日本大震災で大きな被害を受けた「碧水園茶室」の復旧工事が完了しました。1月14日(祝)には「茶室びらき」、1月27日(日)には碧水園初釜「新春茶会」が開催されますので、美しく蘇った茶室でおいしいお茶を召し上がってみませんか?(20ページに関連記事掲載)▷写真は、碧水園主催講座「茶事の基礎講座」の渡邊宗裕先生(左から3人目)と生徒の皆さん。